

■ 事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の概要（全国）

- 『事故ゼロプラン』は、平成22年度より推進する、幹線道路の交通安全対策の一つ。
- 「**選択と集中**」、「**市民参加・市民との協働**」をキーワードとして、事故データや地方公共団体・地域住民からの指摘等に基づき交通事故の危険性が高い区間を「**事故危険区間**」として選定。
- 地域住民への注意喚起や事故要因に即した対策を**重点的・集中的**に講じて効率的・効果的な交通事故対策を推進。
- 完了後はその効果を計測・評価し**マネジメントサイクルにより逐次改善**。
- 事故危険区間の選定は、学識経験者・関係者等からなる**委員会から意見を聴取**して実施。
- 道路利用者に危険箇所を認識してもらうことで事故削減効果を期待。危険個所の認識のため、①代表的な事故危険区間の公表、②注意喚起看板の設置、③地域住民・関係機関等との合同現地地点検等を実施。

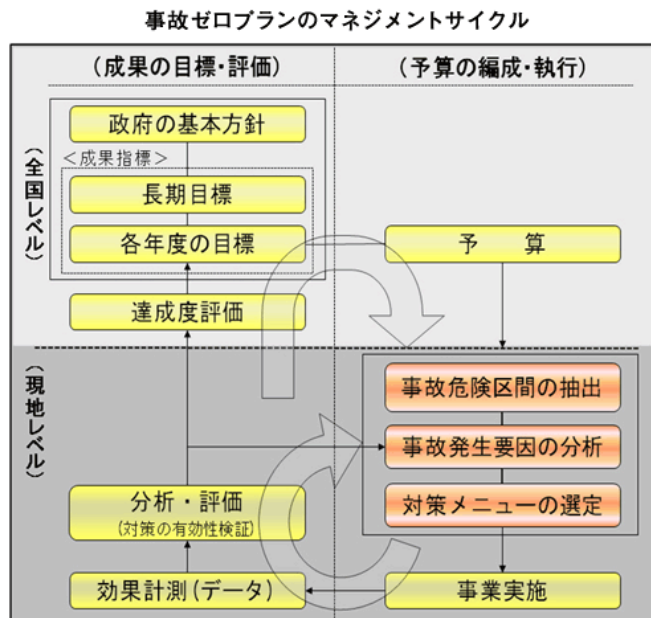


図1 事故ゼロプランのマネジメントサイクル

出典：国交省HP 幹線道路の交通安全対策

■ 石川県の事故ゼロプランの概要

- 石川県の『事故ゼロプラン』は、平成22年度より、**直轄国道を対象に推進**。
- 平成24年度以降、**石川県道路安全・円滑化検討委員会**において、議事【**交通事故**】として、毎年度1回程度審議。
- 第1期事故ゼロプラン**（H22～H29）は、**各年計画**として、**毎年度**、最新データ等により、**事故危険区間の抽出・登録・効果評価・登録解除**を実施。
- 第2期事故ゼロプラン**（H30～R4）以降、**5ヶ年計画**を採用。**計画初年度**に**事故危険区間を抽出・登録**し、**計画最終年度**に**登録解除を判定**している。
- 現在、**第3期事故ゼロプラン**（R5～R9）を推進中。

表1 石川県事故ゼロプランの経緯

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
計画期間	第1期（各年計画）								第2期（5カ年計画）					第3期（5カ年計画）				
事故危険区間の抽出	毎年度、最新の事故データ（4年）に基づき、事故危険区間を抽出								初年度に事故危険区間を抽出（毎年度適宜追加登録）					初年度に事故危険区間を抽出（毎年度適宜追加登録）				
事故危険区間の評価	毎年度、対策実施箇所の効果評価（登録解除判定）を実施								計画最終年度に対策実施箇所の効果評価（検証完了＝事故危険区間登録解除判定）を実施（個別の対策効果分析は適宜実施）					計画最終年度に対策実施箇所の効果評価（検証完了＝事故危険区間登録解除判定）を実施（個別の対策効果分析は適宜実施）				

■ 石川県の事故ゼロプランの取組内容（マネジメントサイクル）

- ・石川県の『事故ゼロプラン』は、**PDCAサイクル**で推進。
- ・**5ヶ年計画**では、**計画初年度**に**事故危険区間**を登録し、**計画最終年度**に事故危険区間の対策完了=登録解除を判定。
- ・また、毎年度PDCAサイクルにより、事故危険区間の追加登録、各区間の事故対策検討、対策実施、効果評価を実施。

表2 石川県事故ゼロプラン 5ヶ年計画のPDCAの実施概要

PD CA	項目	実施概要
P	事故危険区間の抽出・登録	事故危険区間の抽出・登録 【計画初年度】
	追加登録区間の抽出・登録	事故危険区間追加登録候補の抽出・追加登録 【毎年度】
	事故危険区間の対策検討	事故危険区間（当初登録区間、追加登録区間、対策効果評価で要追加対策判定区間）の事故要因分析、対策検討 【毎年度】
D	事故危険区間の対策実施	事故危険区間の対策実施 【毎年度】
C	事故対策実施区間の対策効果評価	対策を実施した事故危険区間の効果評価 【毎年度】
A	対策効果評価結果による各区間の進捗判定	対策効果評価結果により、対策効果が不十分な区間は「要追加対策」としてPへ差し戻しを判定。効果が十分な区間は「検証完了（計画期間最終年に事故危険区間登録解除）」 【毎年度】
	事故危険区間の登録解除	効果評価結果により、事故危険区間の登録解除を判定 【計画最終年度】
	石川県道路安全・円滑化検討委員会	上記石川県事故ゼロプランの取組の結果を審議 【毎年度】

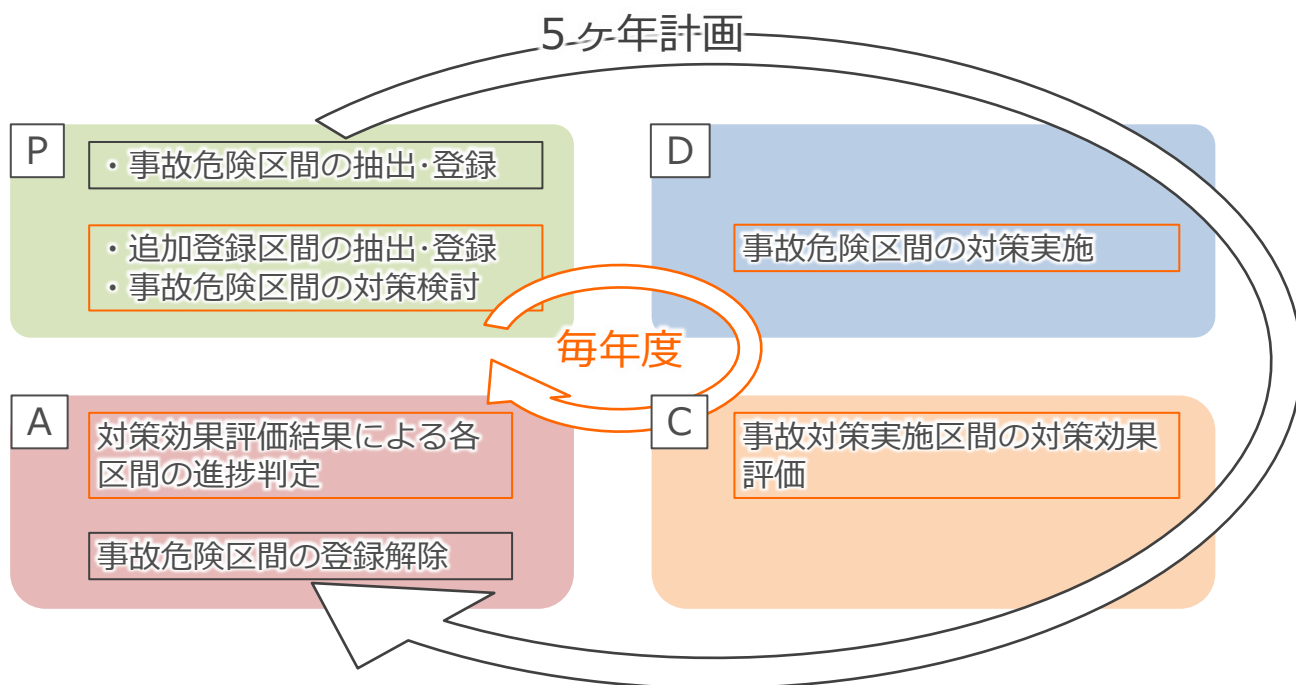


図2 石川県事故ゼロプラン 5ヶ年計画のPDCAサイクル